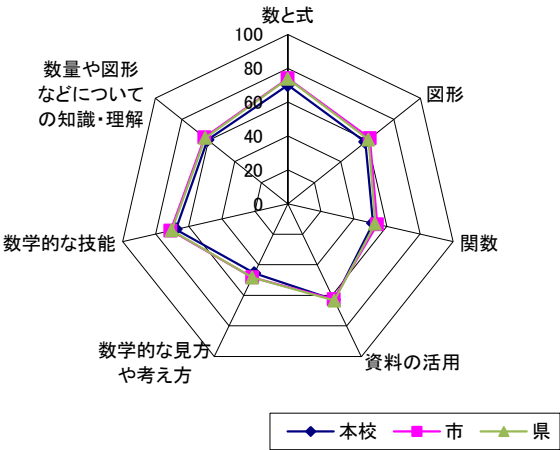


宇都宮市立陽南中学校第2学年【数学】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	70.0	74.1	73.8
	図形	58.5	62.0	60.9
	関数	51.6	54.1	52.9
	資料の活用	63.0	62.5	63.4
観点	数学的な見方・考え方	45.5	48.2	48.3
	数学的な技能	67.8	71.0	70.4
	数量や図形などについての知識・理解	60.6	62.9	62.3



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○文字式の正答率は63. 8ポイントで、栃木県の平均正答率より4. 2ポイント下回っている。その中で、「数量の間の関係を等式に表す」に関しては、県全体を2. 7ポイント上回った。 ●1次方程式の正答率は72. 8ポイントで、栃木県の平均正答率より4. 4ポイント下回っている。「移項について理解し、簡単な1次方程式を解く」に関しては、県全体を6. 2ポイント下回った。	四則の計算の仕方が混同している生徒がみられるので、計算の順序や方法を丁寧に指導するよう心がけ、より多くの問題を解かせていく。その際、公式や定理、解く順序を確認し繰り返し問題を解かせるようにする。
図形	○平面図形の正答率は62. 6ポイントで、栃木県の平均正答率より1. 1ポイント下回っている。その中で、「回転移動させる角度を求める」に関しては、県全体を2. 0ポイント上回った。 ●空間図形の正答率は56. 8ポイントで、栃木県の平均正答率より3. 0ポイント下回っている。	空間をイメージできるように、立体や展開図などの実物教材や視聴覚教材を用いた授業展開を行う。
関数	○比例・反比例の正答率は51. 6ポイントで、栃木県の平均正答率より1. 3ポイント下回っている。その中で、「比例の関係にあるxとyを式に表す」に関しては、県全体を4. 0ポイント上回った。 ●「比例の式から、比例のグラフをかく」は7. 3ポイント下回った。	式と表とグラフを別々に扱うのではなく、式から表やグラフ、表から式やグラフ、グラフから式や表がかけられるように、それぞれの関係を意識した指導を心がける。
資料の活用	○正答率は63. 0ポイントで、栃木県の平均正答率とほぼ同じである。その中で、「度数分布表から、階級の相対度数を求める」に関しては、県全体を2. 7ポイント上回った。 ●「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する」は5. 9ポイント下回った。	日常生活と関係がある資料を用いて整理を行い、生活との結びつきを意識しながら、整理した情報は何を意味しているのかを説明し合う学習を取り入れる。